

社会貢献活動 コミュニティ【DMA,EC7】

花王のアプローチ

持続可能なよりよい社会を築くためには、多様なコミュニティと共生していくことが重要であると考え、社会貢献活動の重点分野の一つに「コミュニティ」を挙げ、地域社会やNGO/NPOと連携した活動を推進しています。

社会的課題と花王のアプローチ

ますます多様化する社会の中で、多様なコミュニティとともによりよい社会を築くことをめざし、地域社会やNGO/NPOと連携し、事業でアプローチできない、地域コミュニティの抱える社会的課題の解決や社会・文化の活性化への貢献、さらに、

弱者支援や災害支援など特定のコミュニティの社会テーマに関わる支援を行なっています。

また、それらの活動への社員参加の推進により、人財活性化を図り、社会や事業へのさらなる貢献をめざしています。

中長期目標

1. 地域コミュニティの活性化
2. 特定のコミュニティの社会テーマに関わる支援
3. 社会的活動への社員参加の推進

2016年の実績

1. 地域コミュニティの活性化

花王ファミリーコンサート(日本)

- ・山形県酒田市、栃木県益子町にて公演を開催

2. 特定のコミュニティの社会テーマに関わる支援

社会起業家育成支援(日本)

- ・2組の団体への支援を決定、先輩起業家によるアドバイスや事業を成長させるための機会を提供
- ・2015年支援団体からの成果報告と2016年支援団体のキックオフを目的とした花王社員との意見交換会を実施

災害支援・復興支援活動(グローバル)

- ・義援金寄付、製品寄贈、仮設住宅への生活用品セットのお届け、製品売上金額の一部の寄付(熊本県)
- ・社員による仮設住宅訪問と復興リーダー支援活動(東北地方)
- ・台風10号被害物資支援と救援金(岩手県岩泉町・久慈市)
- ・ハイチハリケーン救援金 など

3. 社会的活動への社員参加の推進

花王ハートポケット倶楽部(日本)

- ・定期的な運営委員会、災害時の臨時運営委員会で支援内容を決定
- ・事業場地域の市民活動を応援する「地域助成」を栃木県、和歌山県、茨城県で実施
- ・規模の大きい活動を応援する「みらいポケット基金」を通じた助成実施

ピンクリボンキャンペーン(グローバル)

- ・10月～11月に、計9カ国・地域の化粧品カウンセリングコーナー等でリーフレットを配布
- ・ピンクリボンに関わるウェブサイトの開設と動画の公開、iPhone向けアプリの提供、商品ご購入やセルフチェック実施の数に応じた寄付、イベントへの協賛(日本)
- ・社員がピンクリボンバッジを着用し、ピンクリボンを応援するメッセージを発信

→詳細は「社会貢献活動報告書」

http://www.kao.com/jp/corp_csr/social_activities.html

具体的な取り組み

熊本地震・東日本大震災での被災地支援活動

日本

花王グループは、生活必需品メーカーとして、災害発生時の物資、義援金の緊急支援から、被災地の復興に向けた生活用品の支援、心のケア、被災地域の再生支援など、中長期視点に立った支援を行なっています。

1. 熊本地震

2016年4月に発生した熊本県を震源とする地震の影響で、大きな被害が発生しました。地域の皆さまが1日でも早く日常の生活を取り戻していただけるよう、花王は地震発生直後からさまざまな支援活動を行なっています。

製品の寄贈や義援金の寄付

大きな被害に見舞われた地域に対し、熊本県の要請に沿って、ベビー用紙おむつ、大人用紙おむつ、生理用ナプキン、ハンドソープなどの花王製品を提供しました。

また、花王より日本赤十字社を通じて1,000万円の義援金を提供し、「花王ハートポケット倶楽部」より、ボランティア活動資金として20万円を社会福祉法人 中央共同募金会へ寄付しました。

応急仮設住宅ご入居の世帯へ「花王 生活用品セット」のお届け

国土交通省が熊本県内に建設した応急仮設住宅にご入居の世帯に向けて、生活用品11品目をパッケージにした「花王 生活用品セット」をお届けしました。

応急仮設住宅への入居にあたっては、避難所のような支援が受けられないことを不安に思う声が多く聞かれたため、花王では、少しでもお役に立ちたいと、現地からご要望の多い生活用品をお届けしました。

社員有志が箱詰めを行ない、応急仮設住宅へのお届けは、花王グループの販売活動を担う花王カスタマーマーケティング(株)のグループ社員が主として行ないました。

製品売上金額の一部を熊本県に寄付

熊本地震発生から半年が経った2016年11月には、熊本県へ1,000万円の寄付目録をお渡ししました。

この寄付は、8月1日～9月15日にかけて、九州沖縄エリアのご販売店の皆さまと連携して店頭で実施した「九州みんなの力で熊本を応援」企画によるものです。花王グループ、販売店、お客さまが一体となり、花王製品の売上金額の一部を寄付金として充てました。この活動では45の企業、2,148店舗にご協力いただきました。

2. 東日本大震災

2011年に発生した東日本大震災では、発生直後から義援金や物資などの緊急支援を行ない、その後の現地ニーズに寄り添いながら、現在は、「心のケア」と「自立的復興(産業復興)支援」を2本柱として、社員による仮設住宅訪問や復興リーダー支援活動を行なっています。

自社での取り組みとともに、今後も行政や他企業、NGO/NPOなどさまざまなセクターと連携し、被災地の方々を継続的に支援していきます。



南三陸町での社員による第3回農業ボランティア

花王(タイランド) ハッピートイレ プロジェクト

グローバル

花王(タイランド)は、持続可能な社会や環境への貢献をめざし、寄付やボランティア活動、環境に配慮した事業活動など、さまざまな取り組みを行なっています。特に、コミュニティに衛生的な暮らしを提供することに重点を置いています。タイなどのインフラ整備の途上にある地域では、衛生水準の向上は非常に重要な課題で、なかでもトイレは衛生の基礎となるものです。

2014年には「ハッピートイレ プロジェクト」を立ち上げ、主に農村にある学校を中心に、トイレを建設したり、老朽化したトイレを改装したりする資金を提供しています。さらに、タイ北部・北東部・南部の支援が必要な学校に直接働きかけ、2016年は3校を支援。これまでに計5校の支援を実施しました。

清潔で安全な誰もが使いやすいトイレを設置し、公衆衛生を向上させることは、コミュニティ全体の健康を守ることに繋がります。

また、設備を提供するだけでなく、いつまでもきれいに使い続けられるよう、地域の人々でトイレを清掃し、清潔に維持す

ることの重要性を伝えることにも努めています。

花王(タイランド)は、地域社会の人々の衛生的な生活にこれからも貢献していきます。



タイハッピートイレ